

看護師



認定看護師紹介

集中ケア認定看護師 杉谷 恵里

『集中治療室』と聞くと実際に入院した事はなくても、数ある医療ドラマで一度は見たことがあるのではないのでしょうか。私の所属するICU・CCU病棟に入院する患者さんは、今皆さんの頭の中に浮かんだテレビドラマのワンシーンのような場所で多くの機械に囲まれて、日常とはかけ離れた環境にいます。

集中ケアとは、生命の危機的状態にある患者さんとその家族を対象として、心臓や肺、脳や腎臓といった臓器に機能障害があり、多くの医療機器を必要とする患者さんの回復を支援していく事です。集中ケア認定看護師である私の役割は、そういった患者さんの生命を守るとともに、患者さん及びその家族に応じた苦痛緩和や、精神的ケアを提供し、急性期から退院後の生活を見据えたりハビリなどの看護実践を行っていくことです。また、集中治療室のスタッフが継続して患者さんや家族へ、より良い看護実践が行えるよう必要に応じた教育や支

援を行っています。

看護師界の有名人といえばナイチンゲール。100年あまり前、ナイチンゲールは『看護がなすべきこと、それは自然が患者に働きかけるのに最も良い状態に患者を置くことである』と言っています。医療は100年前とは比べものにならないほど変化し、専門性や高度化が進み、看護師も100年前よりは多くの事が求められます。しかし今も昔も看護師の1番の役割は、患者さんの生きる力(生命力)を最大限に引き出すために力を貸すことです。そして2016年現在でも集中治療室だからこそ、そんな基本的な看護を1つ1つ丁寧にやっていく事の重要性を日々感じています。

ICU・CCUの看護師は、少し寂しいですが患者さんに忘れられてしまう事が多いです。それでも患者さんが一般病棟に移り、リハビリへ通っている姿や、「元気になりました」と訪ねてくださった時には、逆に私達が元気をもらえます。

